

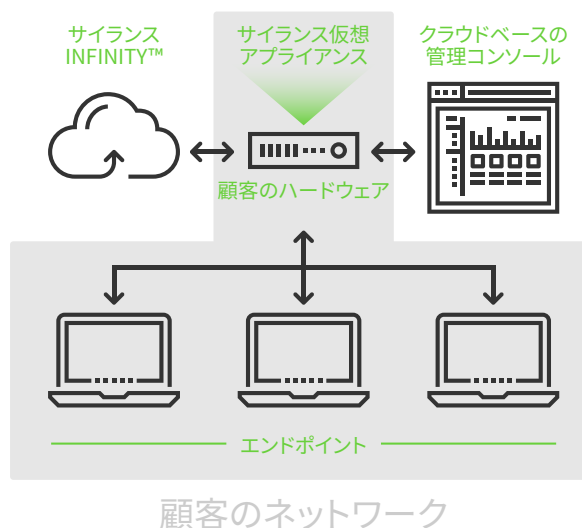
制限された 接続ネットワークの ジレンマ

企業によっては、設計上または業務上の理由から、制限されたインターネット接続で業務を行っています。このような企業は、制限付きのネットワークや保護されたネットワーク、プライベートクラウドを使用していることも、接続が制限された遠隔地で業務を行っていることもあります。CylanceHYBRIDは、サイランス製品のすべての通信を単一の機器を経由させることで、このような企業のセキュリティを確保します。

Cylance 専用のプロキシソリューション

CylanceHYBRIDでは、ローカルネットワークをインターネットに公開することなく、クラウドとローカルインフラストラクチャ間で容易にセキュリティに関する通信を行うことができます。CylancePROTECT®の標準構成では、エンドポイントは、更新プログラムを確認するために個別にクラウドと通信する必要がありますが、CylanceHYBRIDで必要なのはクラウドとの単一の接続だけです。CylanceHYBRIDは、エンドポイントの更新プログラムを一度ダウンロードしたら、それらをキャッシュして内部ネットワーク上で配布します。

CylanceHYBRID™



Cylance®製品のすべての通信をCylanceHYBRID経由でルーティングすることで、安全な環境を維持するための接続要件が大幅に緩和されます。さらに、CylanceHYBRIDはセントロイド（数理モデルの差分アップデート）をローカルに保存し、各エンドポイントがセントロイドを個別にダウンロードする必要がないため、オーバーヘッドも削減されます。それと同時に、製品の管理は従来通りクラウド上にある管理コンソールからすべて実施できるため、豊富な管理機能や拡張性といったクラウドのメリットを犠牲にすることはありません。

このモデルは特に、きわめて制限の厳しいネットワークを使用する次のような組織にとって役立ちます。

- 政府および防衛
- 金融
- 産業制御システム
- 医療
- 製造
- 小売
- 航空
- 石油およびガス

CylanceHYBRIDは、遠隔地や技術的に十分なネットワークサービスを利用できない地域で業務を行う産業にとってもメリットがあります。たとえば、船旅会社や緊急救援機関、鉱業、石油、林業のような資源採取企業などがそうであり、こうした企業はすべて3G/4G接続に依存しています。

サイランスについて

サイランスは人工知能を活用することによって、予防ファーストで予測的なセキュリティ製品と特別なセキュリティサービスを提供しています。これらの製品やサービスは、エンドポイントセキュリティに対するアプローチを変革します。サイランスのセキュリティソリューションは、企業のすべての領域に対して予測的な脅威防御と可視性をもたらし、マルウェア、ランサムウェア、ファイルレスマルウェア、悪意のあるスクリプト、武器化したドキュメント、その他の攻撃ベクトルの脅威に対処します。AIに基づくマルウェア防御、アプリケーションとスクリプトの制御、メモリ保護、デバイスポリシー適用、根本原因分析、脅威ハンティング、自動化された脅威検知と対処に、エキスパートセキュリティサービスを組み合わせることによって、サイランスはスタッフの作業負荷やコストを増加させることなくエンドポイントを保護します。

CylanceHYBRID の詳細

データの処理

データのタイプ	詳細
セントロイドの更新	セントロイドは、ファイルを分析して脅威であるかどうかを判定する数学モデルの差分アップデートです。CylanceHYBRIDは、最新のセントロイドのローカルリポジトリを作成します。
Agent 更新バイナリ	CylanceHYBRIDは、最新のCylancePROTECTエージェント更新プログラムのコピーをダウンロードして配布します。
環境の更新	サイランスクラウドコンソールで実行した、セキュリティポリシーや権限などの管理上の変更は、CylanceHYBRID経由でエージェントに中継されます。

ハードウェア要件

CylanceHYBRID は仮想アプライアンスとして導入されます。CylanceHYBRIDには次のリソースが必要ですが、さらに詳細なテストを行う場合には変わる場合があります。

RAM: 4GB以上、8GBを推奨

CPU: 3.0GHz 2コア以上、3.0GHz 4コアを推奨

ディスク: 100 GB以上、1TBを推奨

容量

OVA インスタンスあたり最大 10,000 台のエンドポイントをサポート